

施工業者様

差込みプラグの取扱いについて

差込みプラグから雨水等が浸入しますと、

故障、漏電、火災の原因になる可能性があります。

水道凍結防止ヒーターを施工される際は、防滴・防塵処理を行っていただきますようお願いいたします。

推奨施工例

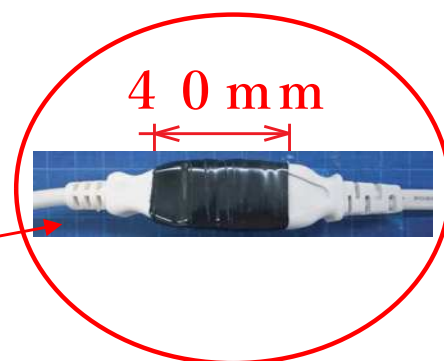
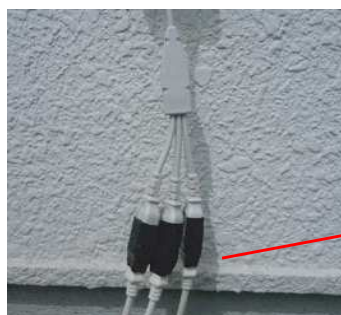
防水コンセントに直接接続する場合



差込みプラグが確実にロックされていることを確認してください。

ロックされていない場合、差込プラグが抜け落ち、プラグが浸水する可能性があります。

延長コード・分岐プラグで接続する場合



- * 接続部をテープなどで巻いて、防滴・防塵処理を行ってください。
 - * プラグ表面が汚れている場合は水で薄めた中性洗剤などで拭き取り、乾燥させてから処理を行ってください。
 - * テープなどで処理を行う場合は、目安として幅40 mm以上巻き付けてください。
 - * 自己融着テープをご使用いただきますとより効果的です。
- また、接続部に段差が生じる場合は、自己融着テープをご使用下さい。

ご使用者様

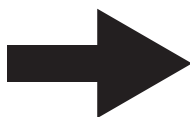
差込みプラグの点検について

水道凍結防止ヒーターは定期的な点検が必要な電熱器具です。

1年に1度、以下の点検を行っていただき安全にお使いいただけますようお願いいたします。異常が見られた場合は、直ちに使用を中止し施工業者様へご相談ください。異常がない場合でも5年に1度を目安に施工業者様による点検を受け安全にご使用ください。

1) テープはがれ

テープがはがれている場合は巻き直してください。



2) 差込みプラグの取扱い

配管の水抜きを行う際を除き、差込みプラグを抜く必要はありません。差込みプラグを抜いた場合は、雨水等が浸入し故障や火災の恐れがあるためビニール袋などで雨水等が直接掛からないように保護してください。



山清電気株式会社

電話 本社 0263-88-8209
仙台(営) 022-354-0020